



事務連絡  
令和2年10月8日

関係団体 各位

九州運輸局 自動車交通部長

台風第14号の接近に備えた体制の確保等について

平素から国土交通行政に御理解と御協力を賜り、深く感謝申し上げます。  
気象庁によると、台風第14号は、奄美の東海上を北北西に進んでおり、台風の北側には前線が停滞しています。今後も台風は発達しながら、9日から11日にかけて西日本から東日本に接近し、上陸するおそれもあります。

台風の接近に伴い、台風本体の雨雲や前線の影響で9日から西日本や東日本では非常に激しい雨が降り、大雨となるおそれがあります。また、台風が遅く、湿った空気が流れ込む期間が長くなるため、総雨量が多くなる可能性があります。

風については、9日から11日にかけて奄美地方や西日本、東日本で非常に強い風が吹き、海上は猛烈なしけとなることもあります。

台風が接近する地域を中心に、高波に厳重に警戒するとともに、大雨・暴風に警戒してください。台風から離れた地域でも、竜巻などの激しい突風に注意してください。引き続き、台風に関する予報や各地の气象台が発表する警報等の最新の気象情報に留意してください。

つきましては、下記の点に留意頂き、対応について万全を期すよう傘下会員事業者あて周知方宜しくお願いします。

記

1. 最近の被害箇所等への対策の徹底

過去に被災した箇所については、再度の災害発生に備え施設の再点検や監視体制を確保するとともに、土砂災害や低い土地の浸水、河川の増水に警戒・注意するなど万全を期すこと。

2. 気象状況等に応じた適切な対応の徹底

強風、降雨状況の把握に努め、気象状況等を的確に判断しつつ、施設等への被害が予想される場合には早期に体制を取り、適切に運行管理を行うなど事前の対応に万全を期すこと。

3. 乗客等への適切な対応

訪日客を含む内外の利用者に対し、適確な運行情報の提供等の措置を講ずること。

